

令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

令和6年度も本財団は定款に定めた「海洋生物資源の維持・増大や海洋環境の保全を図ることによって、水産業等の社会的、経済的基盤の整備開発等に関する事業を推進し、併せて地域経済の発展に寄与する」という目的を達成するために、京都府、漁業協同組合、漁業者などと連携しながら活動を行ってきました。

令和6年度の種苗配付数はマダイ種苗 742 千尾、クロアワビ種苗 138 千個、サザエ種苗 316 千個で、マダイ以外では目標を達成することができませんでした。その結果、本年度の受取種苗生産負担金は 1,596 万円と、好調だった昨年来 889 万円も下回ってしまいました。本財団の収支状況は、ほぼ、この負担金によって左右されますので、財政的にも非常に苦しい年となりました。クロアワビについては種苗生産初期の餌の不調、サザエについては夏期高水温による斃死によるもので、漁業者の皆様にご迷惑をかける事態となってしまう、非常に申し訳なく思っております。このことにつきましては、職員一同、様々に工夫を重ね、議論を重ねるとともに、温暖化による高水温下でもうまくいっている近隣県の栽培センターの技術を取り入れながら、生産改善に最大の努力を続けているところであります。

また、京都府の委託事業として行っているトリガイの中間育成においては、餌となるプランクトンが多かったことにも助けられ、547 千個の良質の種苗を生産し、配付目標の 540 千個を達成することができました。

さらに、本年から開始しましたイワガキ養殖種苗の生産試験では、採苗器 560 枚の種苗を生産、販売することができました。イワガキ養殖種苗については、漁業者の皆様の期待が非常に大きいため、クロアワビ、サザエ同様に他県の生産技術を導入し、少しでも早く本格生産に移ることができるように努力したいと考えております。

栽培漁業センターの各生産施設ですが、整備から 40 年以上が経過し、老朽化が進んできております。特に、種苗生産の心臓部である海水濾過器や紫外線海水殺菌装置の故障が増え、生産の安定に危惧を持たざるを得ないような状況になっております。また、ベテラン職員から次世代への技術継承、温暖化による高水温への対応など多くの困難な課題を抱えておりますが、世の中の動きに遅れず関係機関と連携して対処していくことが重要と考えており、引き続き現場ニーズを踏まえた、効率的、効果的な業務運営を目指していきたいと考えております。

一方、当財団の経理については、種苗生産の不調や修繕費の増大により非常に厳しい状況にあるとともに、果実収入を左右する景気動向についても、先行きが不透明になってきております。今後は種苗生産を安定させることにより負担金収入を増やすとともに、経費節減などの努力により効率的な運営を図り、経営の安定化に努めてまいります。

1. 主な庶務事項

(1) 評議員会・理事会

年 月 日	事 項	
令 6. 4. 5	理事会を開催（書面評決） （議事事項） 1. 評議員会の決議の省略について 2. 理事の候補者について	[承認決定] [承認決定]
5. 8	評議員会を開催（書面評決） （議事事項） 1. 理事 2 名の補欠選任について	[可決承認]
5. 23	理事会を開催 （議事事項） 1. 令和 5 年度業務報告及び決算報告 2. 公益目的事業の変更（イワガキ種苗生産試験の開始） 3. 評議員会への附議事項	於 舞鶴市 [承認決定] [承認決定] [承認決定]
6. 26	評議員会を開催 （議事事項） 1. 令和 5 年度業務報告及び決算報告 2. 令和 6 年度事業計画及び予算 3. 任期満了に伴う理事の選任	於 舞鶴市 [可決承認] [可決承認] [可決承認]
6. 26	理事会を開催 （議事事項） 1. 理事長及び役付理事等の選定	於 舞鶴市 [承認決定]
11. 19	理事会を開催 （議事事項） 1. 令和 6 年度上半期の業務報告	[承認決定]
令 7. 3. 26	理事会を開催 （議事事項） 1. 令和 6 年度の業務報告について 2. 令和 7 年度の事業計画及び予算について	[承認決定] [承認決定]

(2) 諸会議への出席関係

年 月 日	事 項	
令 6. 4. 5	京都府漁業協同組合資格審査委員会に出席	於 宮津市
9	「海の民学舎」第 10 期生入舎式に出席	〃
11	京都府水産業再生委員会会員会議に出席	於 舞鶴市
25	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	於 宮津市

5.	24	京都府定置漁業協会令和6年度通常総会に出席	〃
	29	京都府成長産業化審査会通常会議及び第1回審査等会議に出席	於 京都市
6.	7	海の民学舎運営協議会第1回関係機関連絡会議に出席	於 宮津市
	14	京都府漁業士会令和6年度通常総会に出席	〃
	21	京都府信用漁業協同組合連合会令和6年度通常総会に出席	於 舞鶴市
	21	京都府漁場環境保全対策協議会令和6年度定期総会に出席	〃
	24	京都府資源管理協議会定例会に出席	於 宮津市
7.	4	農林水産業人材確保・育成戦略検討委員会第1回分野別会議(水産業分野)に出席	於 京都市
	16	京都府成長産業化審査会第2回審査等会議に出席	於 伊根町
	24	海の民学舎運営協議会第1回定例委員会に出席	於 舞鶴市
8.	20	農林水産業人材確保・育成戦略検討委員会第2回分野別会議(水産業分野)に出席	於 宮津市
	23	京都府成長産業化審査会第3回審査等会議に出席	於 京都市
9.	26	京都府資源管理協議会定例会に出席	於 宮津市
10.	4	京都府漁業協同組合資格審査委員会に出席	於 宮津市
	7	大漁祈願祭に参加	於 舞鶴市
	10	日本海栽培漁業センター所長連絡会議に出席	於 亀岡市
	10	日本海種苗生産研究会に出席(～10.11)	〃
	16	令和6年度豊かな海づくりに関する現地研修会に出席	於 舞鶴市
	25	京都府漁業に係る意見聴取会議に出席	於 京都市
	25	京都府資源管理協議会定例会に出席	於 宮津市
	28	令和6年度農林漁業関係団体職員人権啓発研修会に出席	於 綾部市
	31	第38回11府県水産公益法人担当者会議に出席	於 富山市
11.	20	海の民学舎運営協議会第2回関係機関連絡会議に出席	於 宮津市
	26	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃
12.	5	養殖関係研究開発推進会議令和6年度暖水性海産魚類分科会に出席(※)	〃
	18	京都府成長産業化審査会第4回審査等会議に出席(※)	〃
	24	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃
1.	9	令和6年度京都府漁業者実践活動報告課題選定委員会に出席	〃
	17	経営力向上講座に係る新技術導入等講座に出席	〃
	24	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃

2. 7	令和7年舞鶴地区釣漁業連合会通常総会に出席	於 舞鶴市
18	アワビ種苗生産担当者会議に出席（～19）	於 長崎市
21	京都府釣漁業連合会令和7年度定期総会に出席	於 宮津市
26	令和6年度ブランド認証審査会水産幹事会に出席	於 舞鶴市
3. 12	海の民学舎運営協議会第3回関係機関連絡会議に出席	於 宮津市
24	京都府種苗配付協議会を開催、出席	〃
19	京都府成長産業化審査会第2回通常会議に出席	於 京都市
26	海の民学舎運営協議会第2回定例委員会に出席	於 舞鶴市
27	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	於 宮津市

※オンライン出席

（3）契約関係

年 月 日	契 約 名	相 手 方	契 約 内 容	契 約 期 限
令6. 3. 1	土地賃貸借契約	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	宮津庁舎土地の賃貸 (4,060,977 円)	令7. 3. 31

（4）認可・許可・承認・届出及び補助金関係

年 月 日	事 項	摘 要
令6. 3. 26	令和6年度栽培漁業振興事業費補助金交付申請書提出 (36,380,000 円)	京都府知事
3. 29	令和6年度事業計画及び予算の提出	〃
4. 1	令和6年度栽培漁業振興事業費補助金交付決定 (36,380,000 円)	〃
5. 7	令和6年度栽培漁業振興事業概算払請求書（第1四半期分）提出	〃
5. 31	辞任に伴う理事（2名）の変更届	〃
6. 27	令和5年度事業報告書の提出	〃
7. 4	令和6年度栽培漁業振興事業遂行状況報告書（第1四半期）及び概算払請求書（第2四半期分）提出	〃
8. 16	公益目的事業の変更届（イワガキ種苗生産試験の開始）	〃
10. 3	令和6年度栽培漁業振興事業遂行状況報告書（第2四半期）及び概算払請求書（第3四半期分）提出	〃
令7. 1. 8	令和6年度栽培漁業振興事業遂行状況報告書（第3四半期）及び概算払請求書（第4四半期分）提出	〃
3. 24	令和6年度栽培漁業振興事業計画変更承認申請書提出	〃
3. 26	令和7年度栽培漁業振興事業費補助金交付申請書提出 (37,173,000 円)	〃
3. 28	令和6年度栽培漁業振興事業費補助金変更交付決定 (39,468,000 円)	〃

3. 31	令和6年度栽培漁業振興事業費補助金実績報告書提出	〃
-------	--------------------------	---

(5) 人事労務関係

年 月 日	事 項
令6. 4. 1	中嶋清志、永濱雅和を再雇用

(6) 登記関係

年 月 日	事 項	摘 要
令6. 5. 23	辞任に伴う理事（2名）の変更登記	京都地方法務局
7. 25	任期満了に伴う理事（11名）の変更登記	〃
令7. 1. 24	法人の公告方法の変更登記	〃

(7) 検査・監査関係

年 月 日	事 項
令6. 4. 19	令和5年度業務監査（監事監査）
10. 21	令和6年度上期業務監査（監事監査）
令7. 1. 30	外郭団体等実地調査（京都府会計管理者調査）

2. 事業関係事項

(1) 重要海洋生物資源の種苗生産・放流及び種苗供給等に関する事業

(ア) マダイ種苗の生産と配付

【種苗生産と中間育成】

- ・ 5月18日、28日に合計400万粒を採卵
- ・ 7月8日、11日に平均全長24.0mm、941千尾を沖出して中間育成を実施
- ・ 8月7、8日に漁業関係者、遊漁船業者とともに、平均全長54.4mm、732千尾を放流

【配付実績】

配付日	配付先機関名	全長 (mm)	配付尾数	放流場所	備 考
8月6日	株式会社 KANSO テクノス	50	10,000	地先	放流
8月7,8日	事業団	54.4	732,000	マダイの里	拠点放流
合 計			742,000		

(イ) アワビ種苗の生産と配付

【種苗生産と中間育成】(令和7年3月末時点)

- ・ 令和4年度産種苗の飼育状況は、平均殻長28.2mmで4千個
- ・ 令和5年度産種苗の飼育状況は、平均殻長22.8mmで393千個
- ・ 令和6年度産種苗は、10月24日及び11月7日に採卵を実施し、飼育状況は平均殻長5.8mmで262千個

【配付実績】

配付日	配付先機関名	殻長 (mm)	配付個数	放流場所	備 考
5月27日	宮津市水産振興財団(田井)	25,31,39	6,000	地先	3,4年産
5月28日	大浦支所(野原)	25,31,39	1,800	地先	3,4年産
5月29日	大浦支所(田井)	25,31,39	5,500	地先	3,4年産
5月29日	大浦支所(成生)	25,31,39	2,300	地先	3,4年産
5月29日	京都府水視組合連合会(大浦)	25,31,39	2,000	地先	3,4年産
5月30日	栗田潜水組合	25,31,39	6,300	地先	3,4年産
5月30日	養老支所	25,31,39	8,800	地先	3,4年産
5月30日	宮津市水産振興財団(養老)	25,31,39	4,900	地先	3,4年産
5月30日	京都府水視組合連合会(養老)	25,31,39	2,000	地先	3,4年産
5月30日	伊根支所(伊根)	25,31,39	1,300	地先	3,4年産
5月30日	伊根種苗組合	25,31,39	1,000	地先	3,4年産
5月30日	浦島支所(蒲入)	25,31,39	9,800	地先	3,4年産
5月31日	宮津市水産振興財団(島陰)	25,31,39	6,000	地先	3,4年産
5月31日	伊根支所(泊)	25,31,39	1,000	地先	3,4年産

配付日	配付先機関名	殻長 (mm)	配付個数	放流場所	備 考
5 月 31 日	泊水視組合	25,31,39	1,900	地先	3,4 年産
6 月 3 日	舞鶴支所	25,31,39	10,400	地先	3,4 年産
6 月 3 日	宮津市水産振興財団（江尻）	25,31,39	2,200	地先	3,4 年産
6 月 5 日	宮津支所（小田宿野）	25	25,100	地先	4 年産
6 月 6 日	大浦支所(小橋)	25,31,39	1,800	地先	3,4 年産
6 月 6 日	大浦支所(三浜)	25,31,39	2,500	地先	3,4 年産
6 月 6 日	伊根支所(新井)	25,31,39	1,900	地先	3,4 年産
6 月 6 日	新井種苗組合	25,31,39	1,000	地先	3,4 年産
6 月 6 日	浦島支所(本庄浜)	25,31,39	6,800	地先	3,4 年産
6 月 6 日	丹後支所	25,31,39	9,900	地先	3,4 年産
6 月 6 日	京都府水産組合連合会（丹後）	25,31,39	2,200	地先	3,4 年産
6 月 7 日	網野支所	25,31,39	8,300	地先	3,4 年産
6 月 7 日	湊支所	25,31,39	5,100	地先	3,4 年産
合 計			137,800		

（ウ）サザエ種苗の生産と配付

【種苗生産と中間育成】（令和 7 年 3 月末時点）

- ・令和 4 年度産種苗の飼育状況は、平均殻高 32.3mm で 10 千個（令和 6 年 12 月に他県から導入した個体含む。）
- ・令和 5 年度産種苗の飼育状況は、平均殻高 14.3mm で 217 千個
- ・令和 6 年度産種苗の飼育状況は、平均殻高 6.3mm で 618 千個

【配付実績】

配付日	配付先機関名	殻高 (mm)	配付個数	放流場所	備 考
5 月 27 日	宮津市水産振興財団（田井）	14,17,22	2,700	地先	3,4 年産
5 月 28 日	大浦支所(野原)	14,17,22	7,100	地先	3,4 年産
5 月 29 日	大浦支所(成生)	14,17,22	2,100	地先	3,4 年産
5 月 30 日	養老支所	14,17,22	24,000	地先	3,4 年産
5 月 30 日	宮津市水産振興財団（養老）	14,17,22	14,800	地先	3,4 年産
5 月 30 日	伊根支所(伊根)	14,17,22	14,100	地先	3,4 年産
5 月 30 日	伊根種苗組合	14,17,22	14,100	地先	3,4 年産
5 月 30 日	浦島支所(蒲入)	14,17,22	10,000	地先	3,4 年産
5 月 31 日	宮津市水産振興財団（島陰）	14,17,22	2,700	地先	3,4 年産
5 月 31 日	伊根支所(泊)	14,17,22	15,500	地先	3,4 年産
5 月 31 日	泊水視組合	14,17,22	7,100	地先	3,4 年産
6 月 3 日	舞鶴支所	14,17,22	55,200	地先	3,4 年産

配付日	配付先機関名	殻高 (mm)	配付個数	放流場所	備 考
6 月 3 日	宮津支所（江尻）	14,17,22	7,700	地先	3,4 年産
6 月 3 日	宮津市水産振興財団（江尻）	14,17,22	7,700	地先	3,4 年産
6 月 5 日	宮津市水産振興財団（小田宿野）	14,17,22	18,400	地先	3,4 年産
6 月 6 日	大浦支所(小橋)	14,17,22	5,800	地先	3,4 年産
6 月 6 日	大浦支所(三浜)	14,17,22	2,700	地先	3,4 年産
6 月 6 日	伊根支所(新井)	14,17,22	6,200	地先	3,4 年産
6 月 6 日	浦島支所(本庄浜)	14,17,22	7,100	地先	3,4 年産
6 月 6 日	丹後支所	14,17,22	13,900	地先	3,4 年産
6 月 7 日	網野支所	14,17,22	25,700	地先	3,4 年産
6 月 7 日	湊支所	14,17,22	42,400	地先	3,4 年産
6 月 21 日	舞鶴支所	14,22	8,500	地先	3,4 年産
合 計			315,500		

（エ）種苗の幹旋

- ・京丹後市に福井県栽培漁業センターで生産されたヒラメ種苗を幹旋
- ・クロダイ種苗については、他県産の種苗の余剰がなく、幹旋を中止

【幹旋実績】

幹旋日	幹旋先機関名	全長(mm)	幹旋尾数	使用目的	備 考
6 月 5 日	京丹後市(府漁協湊支所)	60	5,500	中間育成	ヒラメ (福井県)

（２）大型クロアワビの種苗生産、養殖技術に関する研究開発事業

- ・本年度は、漁業者に養殖用種苗として配付するとともに、ふるさと納税返礼品としての活用等を調査し、養殖業として漁業者展開の可能性を検討
- ・イワガキ種苗生産を実施していくために、本事業規模を縮小。飼育数を削減するために、1月から殻長 80mm 以上個体を市場へ出荷。それに伴い、民宿組合やふるさと納税返礼品等の配付を終了。漁業者への養殖用種苗の配付については継続

【在庫数】

殻長	個数
80mm 以上	0
70mm	2,320
60mm	750
50mm	0
50mm 以下	0
合 計	3,070

【配付実績】

配付月	配付先機関名	殻長 (mm)	配付個数	備 考
4 月	ふるさと納税	90	4	(ふ) 1 件
6 月	ふるさと納税、民宿組合等	90、100	35	(ふ) 2 件
7 月	ふるさと納税、民宿組合	90、100	35	(ふ) 5 件
8 月	ふるさと納税、民宿組合	100	40	(ふ) 1 件
9 月	ふるさと納税、民宿組合	100	16	(ふ) 3 件
10 月	ふるさと納税	90	3	(ふ) 1 件
11 月	ふるさと納税、民宿組合	90、100	19	(ふ) 5 件
12 月	漁業者等	100	156	
1 月	漁業者、市場	75、90、100	2,168	(ふ) 5 件
2 月	市場	90、100	2,000	
3 月	市場	80～100	2,064	
合 計			6,540	(ふ) 23 件

※ (ふ) : ふるさと納税 (1 月末で終了)

(3) トリガイ中間育成委託事業

- ・京都府の委託事業としてトリガイ種苗の中間育成を実施し、漁業者に種苗を配付
- ・海洋センターで生産された種苗を本年 5 月 24 日に受け入れて中間育成を実施
- ・7 月 5 日から 7 月 23 日にかけて漁業者に平均殻長 12.7～16.0mm の種苗 547 千個配付

【配付実績】

配付日	配付個数	配付地区	備 考
7 月 5 日	95,000	舞鶴	
7 月 9 日	97,500	宮津、久美浜	
7 月 12 日	104,000	舞鶴	
7 月 17 日	96,000	舞鶴	
7 月 19 日	90,000	舞鶴	
7 月 23 日	64,500	舞鶴、宮津	
合 計	547,000		

(4) イワガキの種苗生産試験

- ・8 月 27 日に 1 回目の採卵を実施。浮遊幼生飼育で得られた 24 万個体の幼生を使用し、採苗器 (ホタテ貝殻) 560 枚に採苗。9 月 27 日に採苗器 (平均付着稚貝数 92～201 個体/枚、平均殻高 2.6～3.1mm) を沖出しして中間育成を実施
- ・9 月 10 日に 2 回目の採卵を実施。浮遊幼生飼育 5～6 日目に幼生が激減し、9 日目で飼育終了

- ・12月11日に採苗器560枚（稚貝：平均殻高18mm、付着数65個/枚）を有償配付。配付単価は他県産種苗を参考に決定（150円/枚）
- ・浮遊幼生飼育の生残率の向上が課題であり、今後、小型サイズの餌料プランクトンの使用を検討

（5）土地の賃貸に関する事業

本団が所有する土地（19,711.27 m²）は、国立研究開発法人水産研究・教育機構と締結した賃貸契約に基づき、重要海洋生物の種苗生産技術の開発・研究を実施している宮津庁舎の用地として利用されている。